

スーパーマーケット景気動向調査

2014年11月調査結果(10月実績)

(11月21日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断 DI は現状・見通し判断共に小幅に下落

10月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-1.7の44.5、見通し判断前月から-1.0の41.4と共に小幅に悪化する結果となった。

経営動向調査結果では、売上高DIが-1.8（前月比+1.6）、収益DIは3.8（前月比+2.0）となり共に前月よりやや上昇した。生鮮仕入原価が下落したものの、販売価格の下落は小幅にとどまり、来客数は改善していないものの、客単価が上昇したことが要因と考えられる。

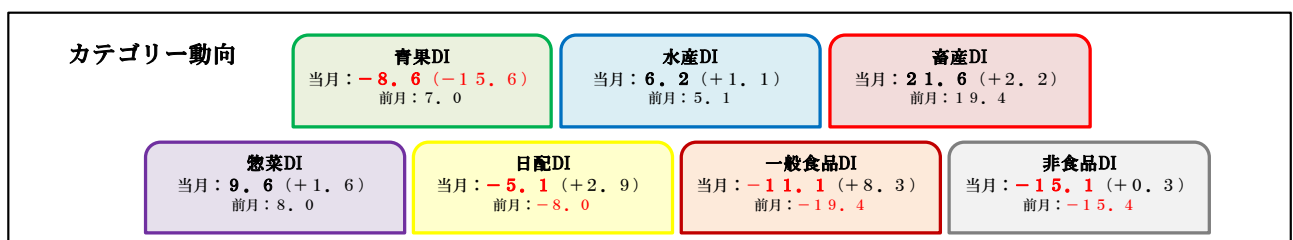
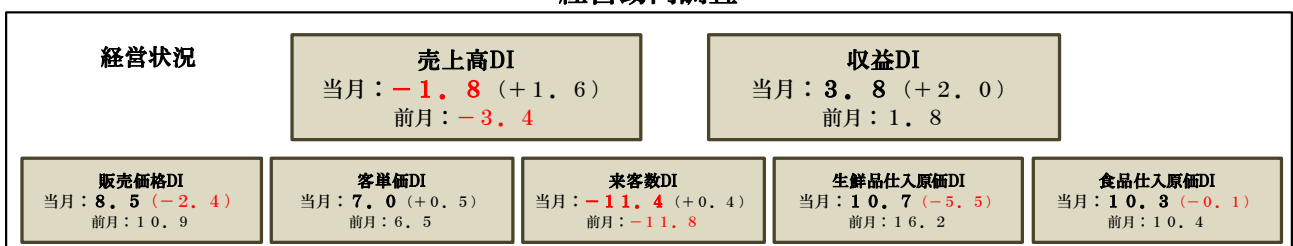
カテゴリ動向結果では、生鮮三品は青果が相場安により-8.6（前月比-15.6）と大きく下落したものの畜産は引き続き21.6（前月比+2.2）かなり好調であり、水産6.2も好調を維持している。また、長く不振が続いていた一般食品は-11.1（前月比+8.3）とやや持ち直しをみせ、日配や惣菜は共に前月より小幅に上昇した。

経営動向調査による売上や収益は小幅に改善しており、カテゴリ動向調査においても改善しているカテゴリが多かったにも関わらず、景況感調査では現状判断、見通し判断ともに小幅ながら悪化し、特に見通し判断は41.4と低くなっている。景況感の改善傾向をともなっていない状況での経営動向の改善であることに留意する必要がある。

景況感調査



経営動向調査



() 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

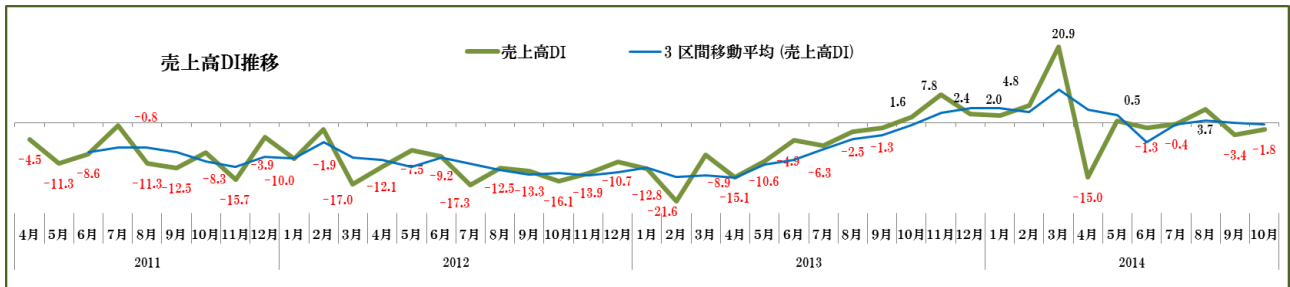
I. 調査結果詳細 1. 経営動向調査

①売上高 DI

マイナス域で推移も横ばい推移

売上高 (前月)	10.5	28.6	26.8	32.3	1.8
売上高 (当月)	7.5	28.8	28.8	33.0	1.9

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加

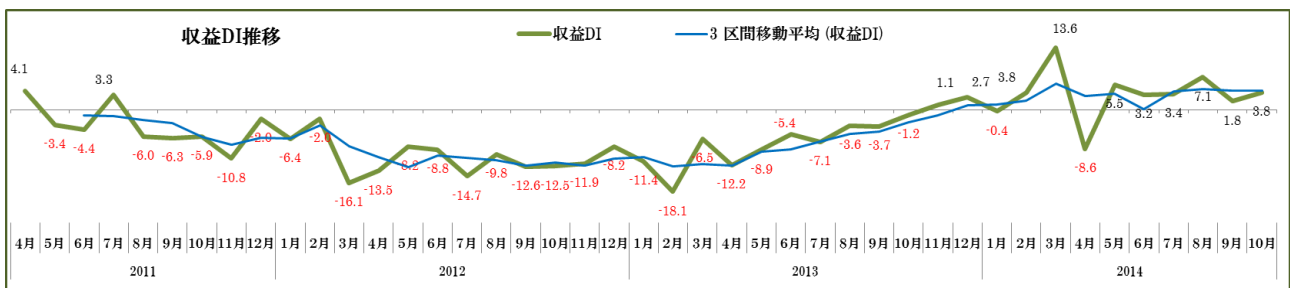


②収益 DI

5月以降はプラスを維持し堅調に推移

収益 (前月)	7.8	22.4	29.7	35.2	5.0
収益 (当月)	5.9	21.2	31.0	35.5	6.4

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加

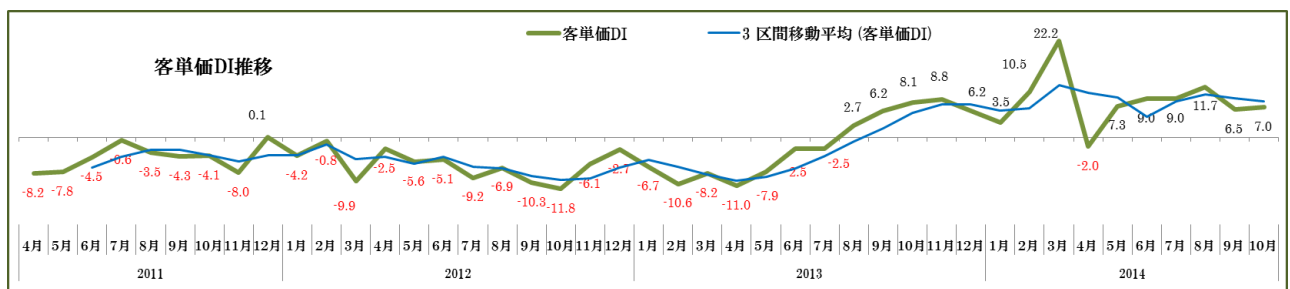


③客単価 DI

5月以降はプラスを維持し堅調に推移

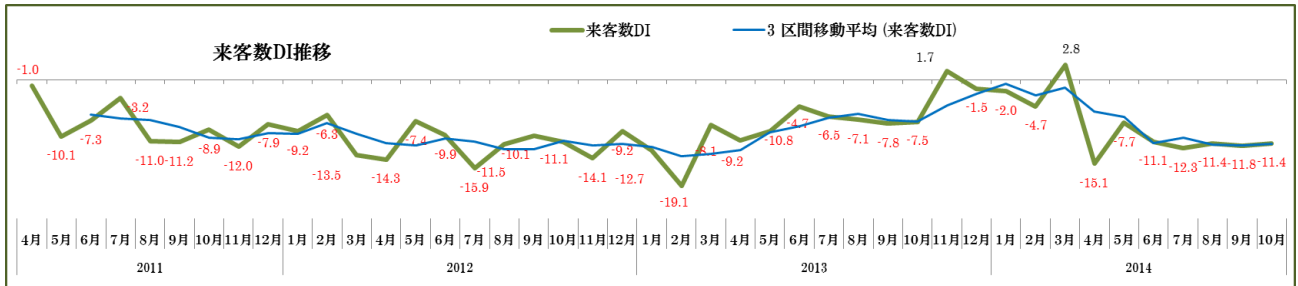
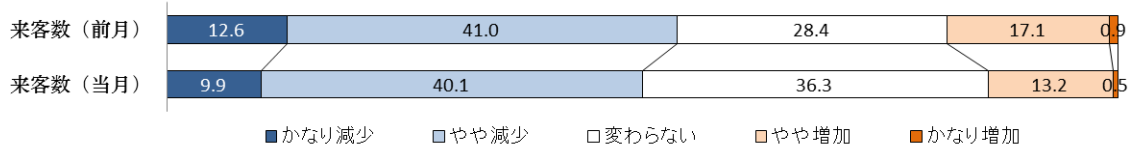
客単価 (前月)	1.4	17.9	34.9	45.0	0.9
客単価 (当月)	2.4	15.6	35.1	45.5	1.4

■ かなり減少 □ やや減少 □ 変わらない □ やや増加 ■ かなり増加



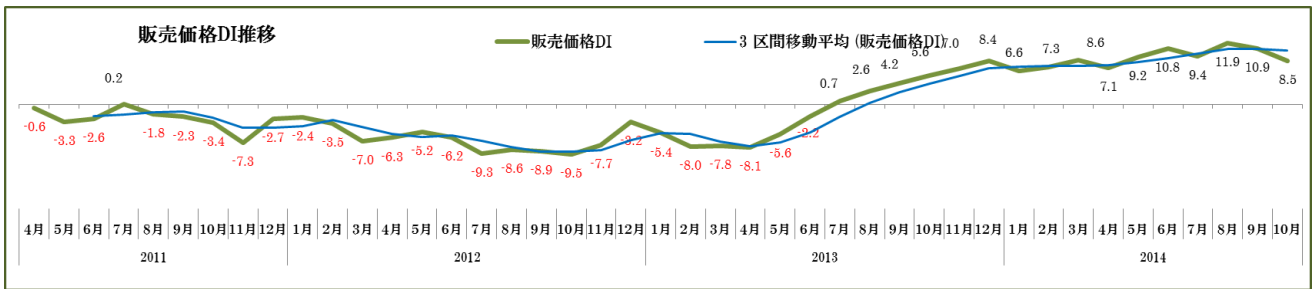
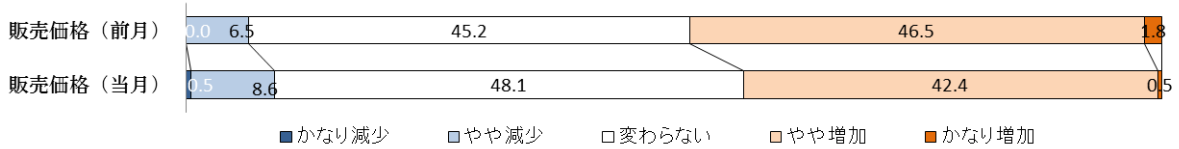
④来客数 DI

税率引き上げ後の下落から回復せず二桁のマイナス続く



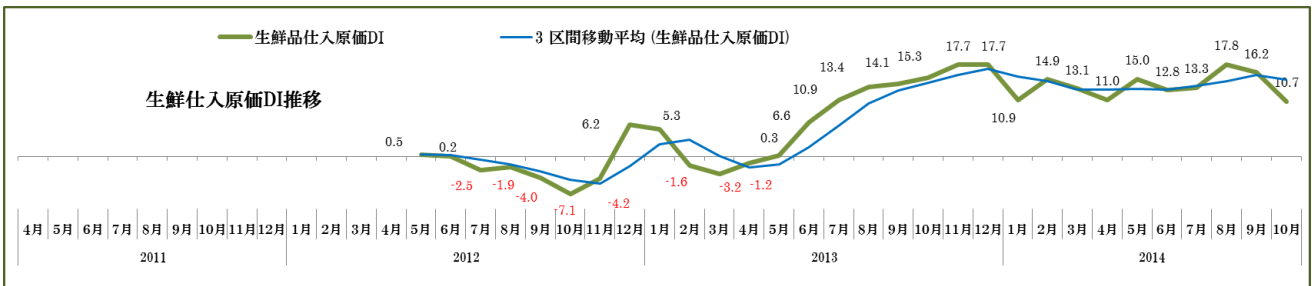
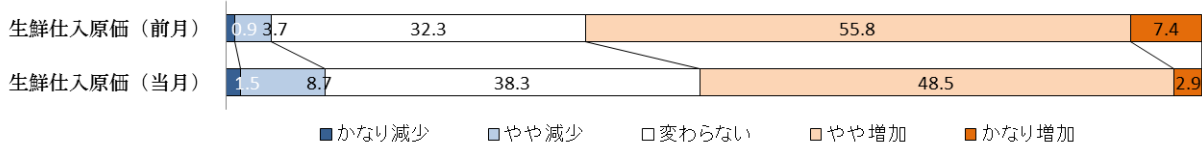
⑤販売価格 DI

5月以降はプラスを維持し堅調に推移



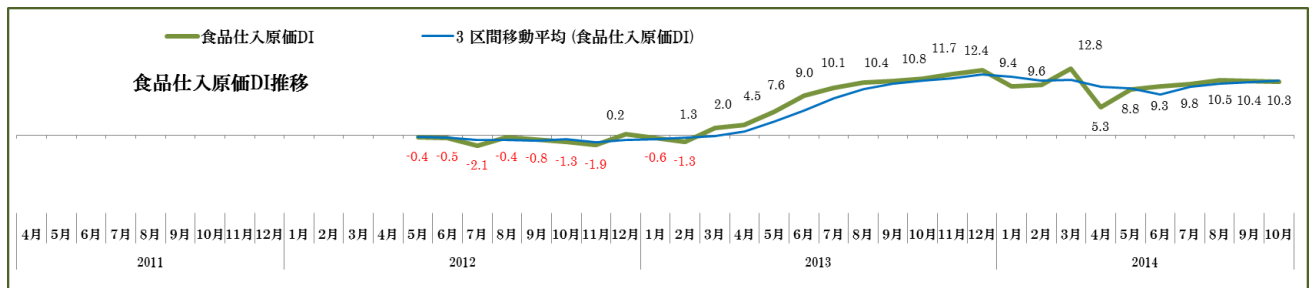
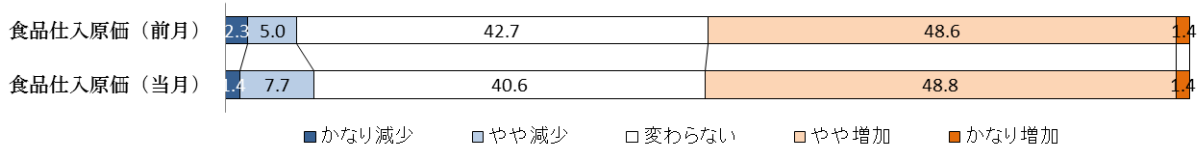
⑥生鮮仕入原価 DI

高水準も当月はやや低下



⑦食品仕入原価 DI

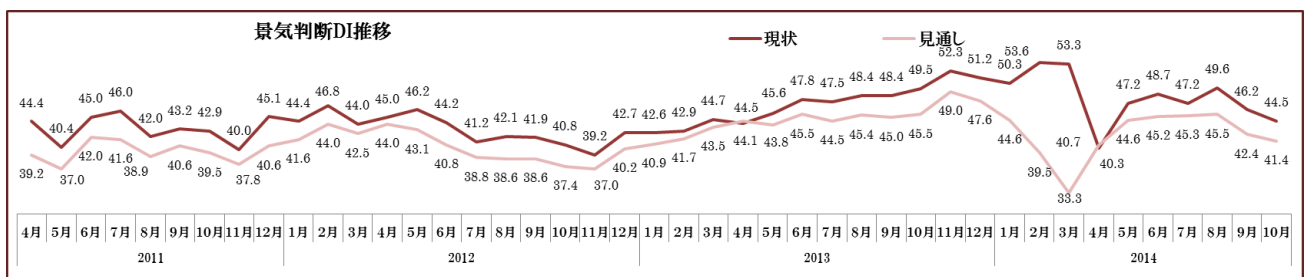
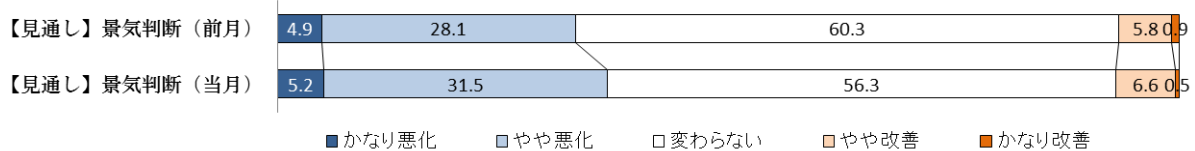
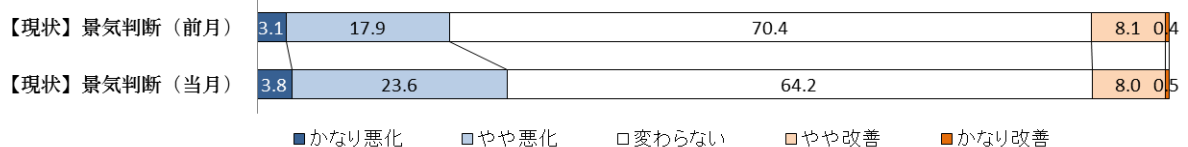
高水準で横ばい推移



2. 景況感調査

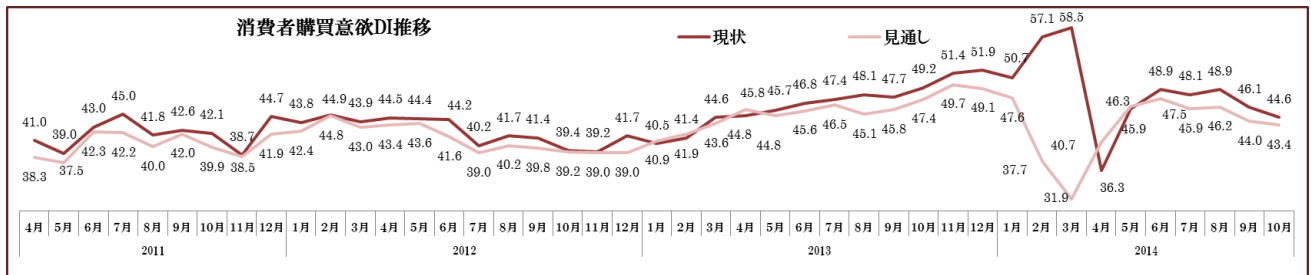
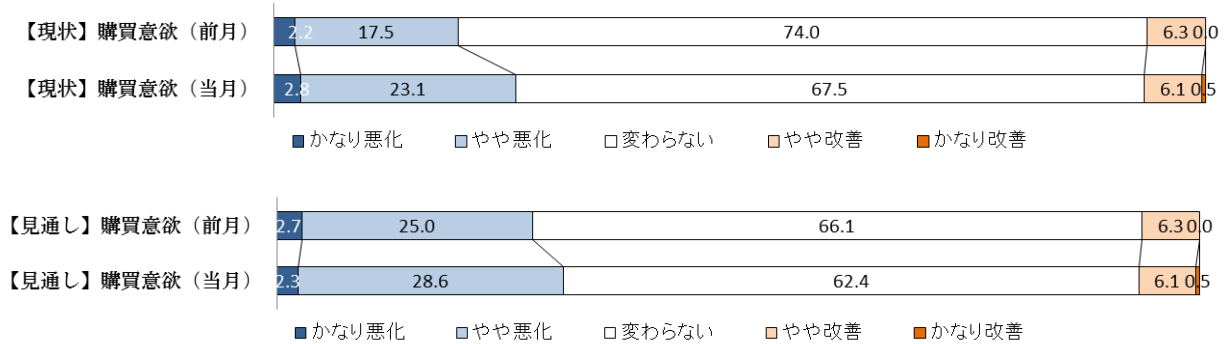
①景気判断 DI

2ヵ月連続の下降でやや弱含み



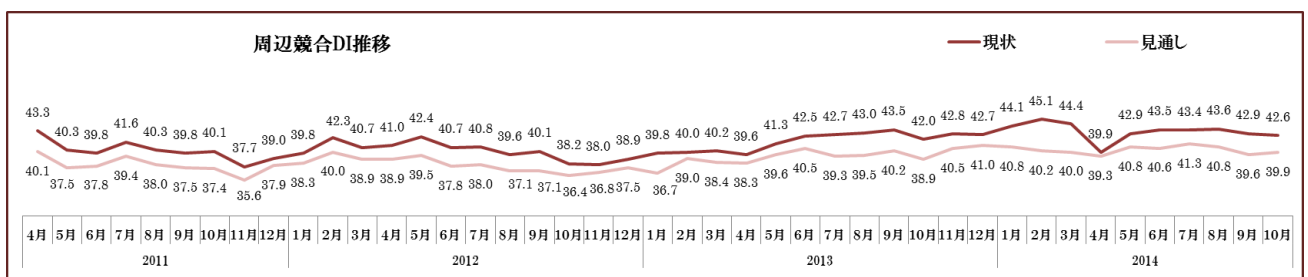
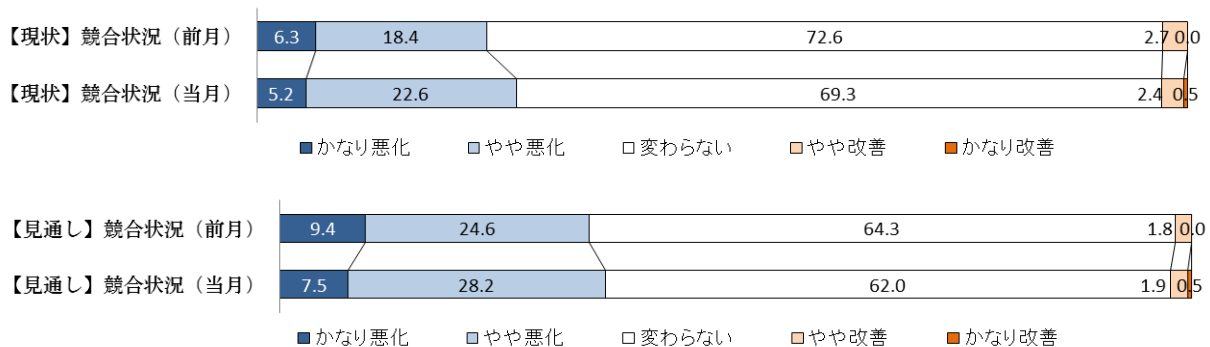
②消費者購買意欲 DI

2ヵ月連続の下降でやや弱含み



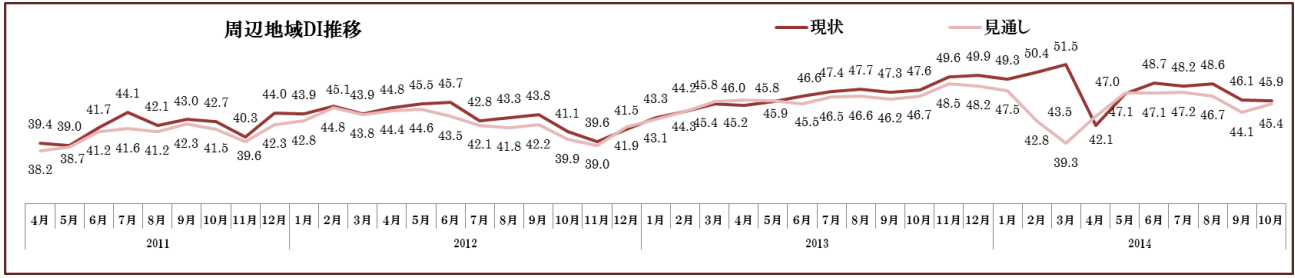
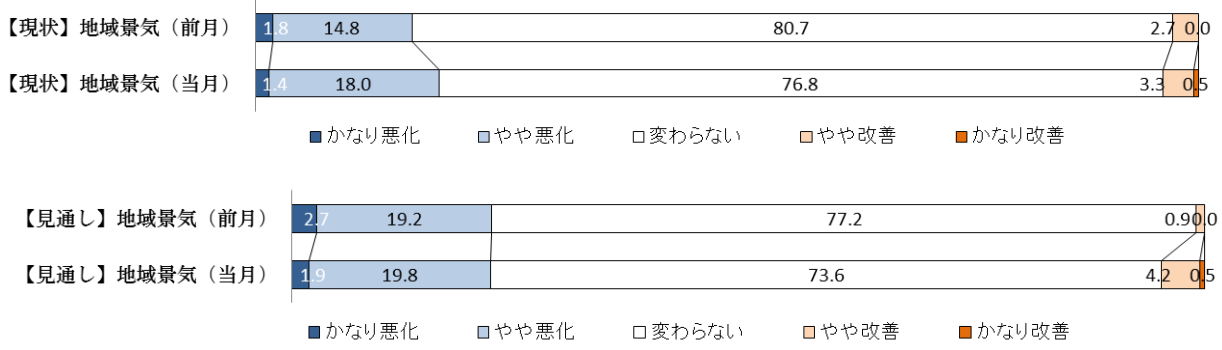
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

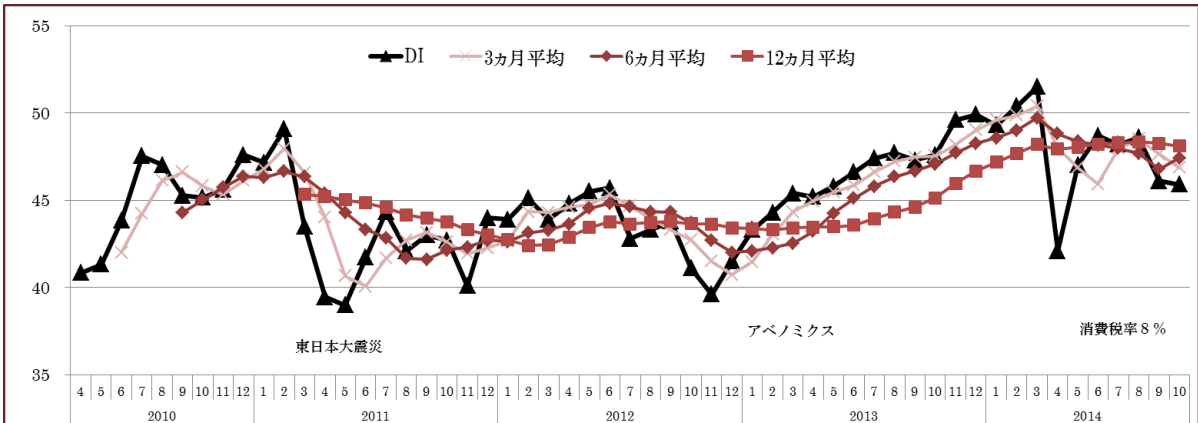
現状判断、見通し判断とも方向感なく横ばい推移



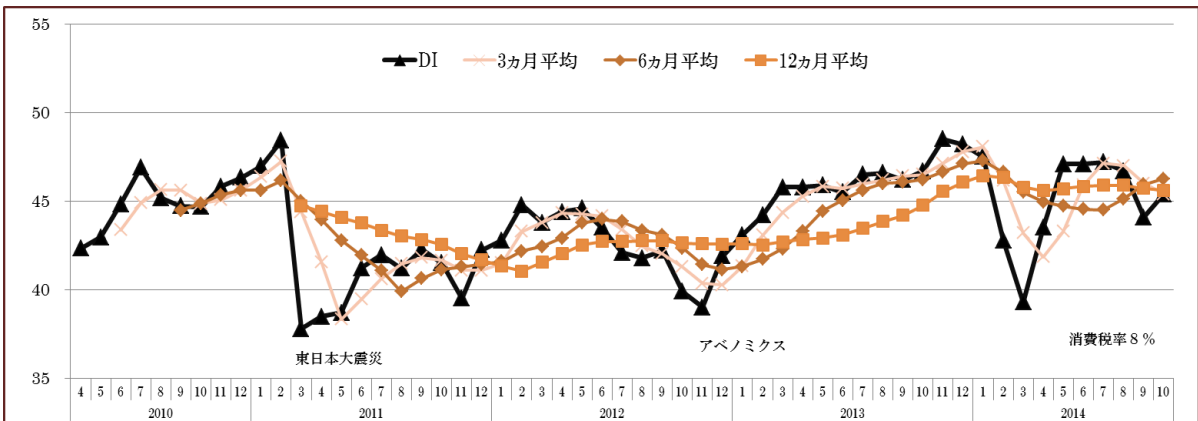
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

現状判断 DI は、消費税率引き上げの影響を受け下落し、6月～8月は横ばい推移、その後2ヵ月連続で下降に転じた。引き続き長期線を下回る推移が続いており、下降トレンドは継続している。見通し判断 DI は同様に弱含みとなっているが、当月はやや持ち直しをみせている。

現状判断（中長期傾向）

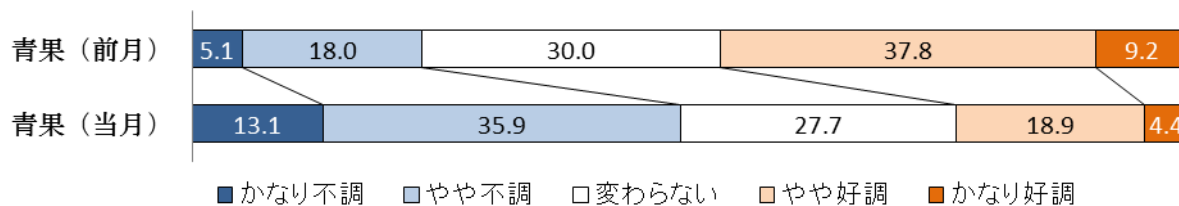


見通し判断（中長期傾向）



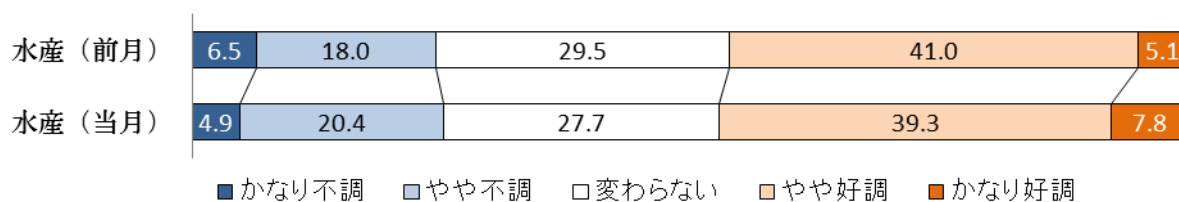
III. カテゴリー別動向

【青果】 やや不調 DI: -8.6 (前月 7.0)



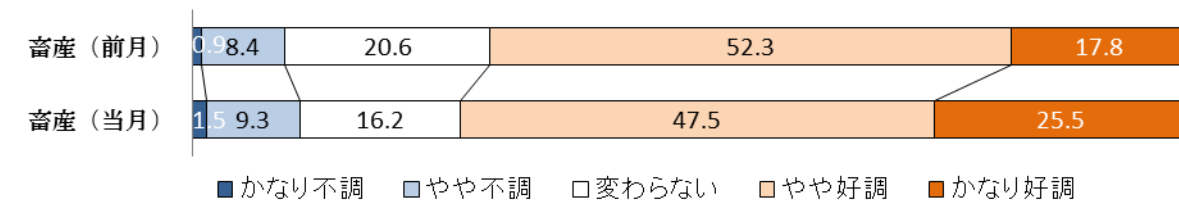
	好調コメント	不調コメント
青果	季節果実(りんご)	野菜相場安、果物(品質)、輸入果物価格高

【水産】 やや好調 DI: 6.2 (前月 5.1)



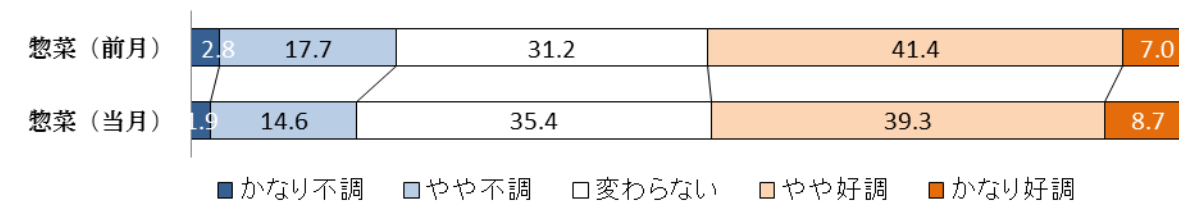
	好調コメント	不調コメント
水産	さんま、まぐろ、刺身類	塩干類

【畜産】 かなり好調 DI: 21.6 (前月 19.4)



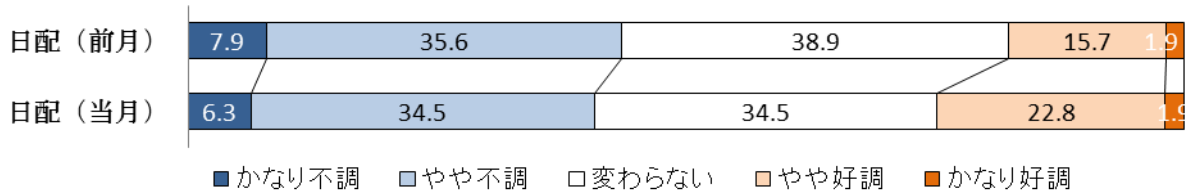
	好調コメント	不調コメント
畜産	豚肉、鶏肉(相場高)、国産シフト	競合

【惣菜】 やや好調 DI: 9.6 (前月 8.0)



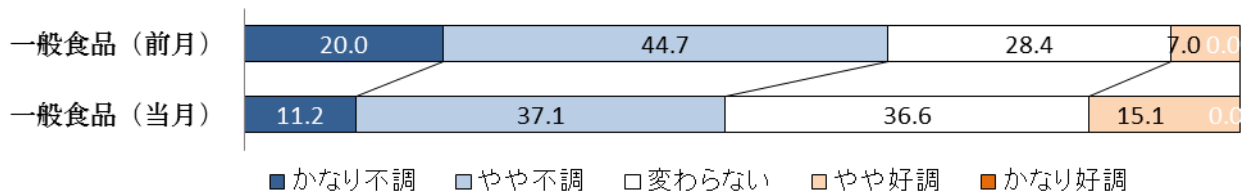
	好調コメント	不調コメント
惣菜	寿司、米飯類、揚げ物	客数の落ち込み

【日配】 やや不調 DI: **-5.1** (前月 **-8.0**)



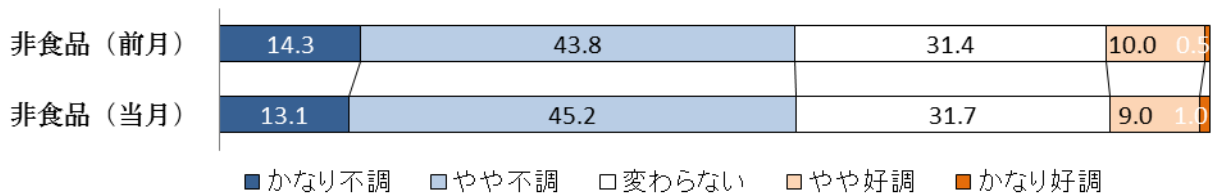
	好調コメント	不調コメント
日配	チーズ、バター(入荷不足)、鍋物、デザート類	牛乳、冷凍食品

【一般食品】 不調 DI: **-11.1** (前月 **-19.4**)



	好調コメント	不調コメント
一般食品	鍋関連、菓子	飲料(気温差)、米(相場安)

【非食品】 不調 DI: **-15.1** (前月 **-15.4**)



	好調コメント	不調コメント
非食品	季節商品	ドラックとの競合、たばこ、衣料品

() は少数コメント

DIによる好不調判断		
<u>かなり好調</u> : 20 以上	<u>好調</u> : 10~20	<u>やや好調</u> : 0~10
<u>かなり不調</u> : -20 以下	<u>不調</u> : -20~-10	<u>やや不調</u> : -10~0

2014年10月キーワード TOP 3
1. 青果相場安
2. 来客数減少
3. 台風(駆け込み需要)

スーパーマーケット景気動向調査
10月実績速報版集計 212社
9月実績確報版集計 224社